

# 令和5年度第1回海津市総合教育会議議事録

1 日 時 令和5年7月18日（火）午後4時から午後5時

2 場 所 海津市役所 東館 4階 4-1会議室

3 出席者の氏名

|          |       |
|----------|-------|
| 市長       | 横川 真澄 |
| 教育長      | 服部 公彦 |
| 教育長職務代理者 | 曾根 理仁 |
| 教育委員     | 伊藤 亮一 |
| 教育委員     | 大津 由佳 |
| 教育委員     | 伊藤 嘉保 |

4 調査、説明等のために出席した者の氏名

|                                |        |
|--------------------------------|--------|
| 総務部長                           | 大橋 隆幸  |
| 企画財政課長                         | 山崎 賢二  |
| 総務課長                           | 伊藤 聡   |
| 産業経済部長                         | 安立 文浩  |
| 産業経済部次長                        | 菱田 登   |
| 教育委員会事務局長                      | 後藤 政樹  |
| 教育総務課長兼学校給食センター所長<br>兼学校統合推進室長 | 後藤 英仁  |
| 学校教育課長兼教育研究所長                  | 大坪 光   |
| 社会教育課長兼歴史民俗資料館長<br>兼図書館長       | 徳永 宗哲  |
| スポーツ課長                         | 米山 一雄  |
| 書 記：教育総務課係長                    | 山田 佐智子 |

5 傍聴者

な し

6 議 題

(1) 行政組織再編（案）について

(2) 市内小中学校におけるいじめと不登校の実態について

7 その他

| 発言者                                     | 発言内容  |
|---|---|
| 教育総務課長兼<br>学校給食センター<br>一所长兼学校統<br>合推進室長 | <p>それでは、ただいまより、令和5年度第1回海津市総合教育会議を始めさせていただきます。この会議は、市長と教育委員会の意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して、本市の教育行政に取り組むため、開催するものでございます。それでは、はじめに、市長よりごあいさつを申し上げます。</p>  |
| 横川市長                                    | <p>本日は、令和5年度 第1回 海津市総合教育会議を開催しましたところ、委員の皆様には、大変ご多用の中、ご出席をいただき感謝申し上げます。また、委員の皆様には、日頃より、本市の教育行政のみならず、市政各般にわたりご理解ご協力をいただき重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>この会議に先立ち、先ほど大津委員に辞令を交付させていただきました。大津委員には、これまでも教育委員として本市の教育行政に多大なるご尽力をいただいておりますところ、引き続きご留任をいただき、改めて感謝申し上げますとともに、今後も益々ご活躍をお願い申し上げます。</p> <p>この「総合教育会議」は、市長部局と教育委員会が市の「教育の課題」と「目指すべき姿」を共有するとともに、意見交換を通じて、今後の教育行政に活かしていく場であります。委員の皆様には、それぞれのご経験を踏まえ、様々な角度から、本市の教育に対するご意見、ご提案をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>三年半に及んだコロナの感染症の位置付けは、GW明けに「2類相当」から「5類」へと引き下げられ、アフターコロナの到来を告げるコロナ対策の大きな転換を迎えました。市といたしましても、コロナ禍で疲弊した市民生活がかつての日常を取り戻すことのできるよう、落ちこんだ地域経済の回復と停滞した地域活動の活性化に全力で取り組んでいるところであります。</p> <p>このような中、5月に、海津市と霧島市との青少年交流の一環として、市内の中学校の生徒12名と海津明誠高校の生徒4名が参加し、3日間の日程で、4年ぶりに霧島市を訪問する交流事業が行われました。また、8月には、霧島市の生徒が海津市を訪問していただく予定であります。様々な経験を通して多くを学び成長する子どもたちにとって、貴重な学びの場が戻ったことに、大変うれしく思っているところであります。</p> <p>もう一つ、嬉しい出来事でやはり、7月1日の「ブラタモリ」です。皆さんもご覧になられましたでしょうか。非常に、私も楽しく拝見いたし</p> |

| 発言者 | 発言内容  |
|-----|---|
|     | <p>ました。海津市を舞台に、オール海津ロケで、「木曾三川、暴れ川VS人間」と題しまして、放送されました。輪中の成り立ちですとか、人々の暮らしや、治水の歴史などが紹介されました。また、県内有数の観光スポットであります「おちょぼさん」や、「木曾三川公園」なども紹介をされました。そして、それと併せて、隠れた名所となっております「行基寺」や「早川家住宅」へタモリさんが実際に訪れて、その様子を放送いただきました。市役所への反響は、非常に大きく大変嬉しく思っているところです。この放送をきっかけに、さらに、多くの方に海津市を訪れていただけるよう、誘客の取組を進めていきたいと思っております。また、番組の中で金廻四間門樋（かなまわりしけんもんぴ）や歴史民俗資料館も紹介され「あれは、いつ、どうやったら見ることができるのか」というような問い合わせを多くいただいております。</p> <p>その、歴史民俗資料館につきましては、前回の総合教育会議でご説明させていただいたとおり、令和7年4月のリニューアルオープンをめざし取り組んでいるところです。令和7年4月とまだまだ先ではありますが今回の「ブラタモリ」の広報効果をしっかりと生かして、多くの方に来館いただけるよう、しっかりとPRしてまいります。海津市の輪中とういのは、小学校5年生の社会「低い土地の暮らし」の中で、使われています。今年も「生活ガイド.com」というサイトで全国の町の注目度ランキングを出しておりますが、5月に海津市が全国で2位となっております。全国で、子どもたちが「低い土地の暮らし」を検索するなど注目度を集めたということでもあります。そういった全国の子どもたちが学ぶ、歴史民俗資料館は、デジタル技術を活用した体感コンテンツや体験コーナーを設け、子どもたちが教科書で学んだことをリアルに体験できる、そんな展示へとリニューアルいたします。全国から社会見学などで、訪れてもらえる「学びの場」となるよう魅力を高めてまいります。大人にとっても、魅力ある新たな賑わいの拠点としてまいりたいと思っております。</p> <p>本日の総合教育会議では、「行政組織再編（案）」と「小中学校におけるいじめと不登校の実態」を議題として、皆様方からご意見をいただくほか、教育全般についてもお話を伺いたいと思っております。海津市の教育が、特色と魅力ある、子育て世代に選ばれる教育となるよう、活発なご意見をお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。本日は、よろしく申し上げます。</p> |

| 発言者                                     | 発言内容  |
|---|---|
| 教育総務課長兼<br>学校給食センター<br>一所长兼学校統<br>合推進室長 | <p>本日の出席者につきましては、資料の表紙の裏面に付けさせていただいております。この名簿をもって紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。なお、本日の会議は、午後5時頃を終了予定とさせていただきます。</p> <p>それでは、議案（1）行政組織再編（案）について、事務局より説明いたします。</p>  |
| 企画財政課長                                  | <資料により説明>   |
| 教育総務課長兼<br>学校給食センター<br>一所长兼学校統<br>合推進室長 | ただ今、資料の説明がありました。ご意見やご質問等がありましたらお願いします。  |
| 曾根委員                                    | 現在の社会教育課とスポーツ課は、職員が多すぎるということでしょうか。  |
| 企画財政課長                                  | 多すぎるということではございません。少な過ぎるぐらいだと考えています。全体の職員数は年々少なくなっておりますので、組織のグループ化を図ってまいりたいと思います。  |
| 曾根委員                                    | <p>私は、図書館、歴史民俗資料館などと、スポーツ課の中学校の部活動の問題は、方向性が確定しているとは思えません。今後も、少子化でどのように若い人たちのスポーツ環境を作っていくかというのは、大変、重要な問題だと思っています。</p> <p>先日、西濃地区の教育委員会研修で、池田町の社会教育課長の話を聞きました。彼は、池田町の古墳調査をほとんど専従で行いこれまで勤めてみえました。今は、課長職なので現業ができないということでした。私が思ったのは、人手不足によって各市町村は専従の人を雇うことが事実上不可能であるため、西濃地域のまとまりの中で、調査・研究について共有してはどうかと思います。今、冒頭にありましたブラタモリで話題になっている、行基寺と金廻四間門樋についてですが、地域の方は、金廻四間門樋の倉庫を農業倉庫だと思う人も多いと思います。もう少しアピールする方法を社会教育課長にお願いしたところです。</p> <p>観光振興とか地域振興などは、今の組織体制の中で、関係する部署と連携できるのではないのでしょうか。歴史民俗資料館には、本阿弥新田の資料や安田記念の方の貴重な資料がたくさんあります。そのような資料を、関</p> |

| 発言者  | 発言内容   |
|------|--|
|      | <p>心のある学者とか、学生とか、そういう人たちに情報発信するだけでも、将来いろいろと生きてくる可能性があると思います。改めて私の考えは、確かに観光振興や地域振興は重大だと思えますが、組織をここまで変えることに、疑問に思えます。歴史民俗資料館、図書館とスポーツは、従来通り教育委員会の管轄としていただきたい。観光振興や地域振興において、人を集める協力依頼があれば、今までどおり教育委員会で快く協力できるものと思っています。</p>  |
| 横川市長 | <p>今回の行政組織再編の根底にありますのは、少子化対策、人口減少の問題であります。総合計画の中で、子育て世代に選ばれるまちをつくっていくということで、いろいろな施策を実施してまいりました。今、海津市の少子化は著しく、令和3年の全国の出生率は1.3、岐阜県は1.4という中で、海津市は0.96となっております。県内21市の中で最下位です。今回の組織再編は、文化、スポーツ、社会教育分野においても、まちづくりに活かしていく思いがあります。再編案は、職員や予算を削減しようと思っておりません。現在、2課4係を1課2係にするということであり、そのような中、歴史民俗資料館のリニューアルは、私が強くお願いしたことで、しっかりと市の財政的な面も投入して市の学びの拠点、賑わいの拠点となるようリニューアルをしていきたいと思っております。そのような考えの中で今回の行政組織の再編（案）をお示しさせていただきました。</p>                                       |
| 曾根委員 | <p>移住者の問題として、以前、農業新聞の記事に移住者に対して農村地域は閉鎖的で馴染むことに時間がかかると書かれていました。海津市でも実際に「自治会に入らない」「自治会とお付き合いしない」と言われる移住者がみえると聞いています。個々の問題かもしれませんが、もう少し、市から情報発信など配慮していただきたいと思えます。</p> <p>もう一つは、歴史民俗資料館のリニューアルですが、昨年、教育委員会の研修で岐阜県博物館を視察してきました。歴史民俗資料館を県の博物館のようになった場合でも入場者が急激に増加するとはないと考えます。私は、資料館のリニューアルを行いどのように運営や資料展の企画が行えるのか中身が非常に大切であると思えます。そのため、先ほど述べたように、海津市の歴史を調査することと、調査した結果や収集した資料を情報発信し広めることに、今一度、強いエネルギーをかける必要があると思えます。</p> <p>また、歴史民俗資料館や図書館やスポーツ振興は、今後の少子化も懸念</p> |

| 発言者     | 発言内容   |
|---------|--|
|         | <p>があり働き手の不足による市職員の減少を解消するためにも、周りの市町村で同じような仕事をしている人達との連携し協力体制を整えてもよいのではないかと思います。私は、民間でそのような事をやってきました。</p> <p>そのようなことから、私は、教育委員として市長部局に移管された歴史民俗資料館や図書館やスポーツ振興について意見を言うだけで終わってしまうのは意味がないと思います。行政組織を変えることは、すごくインパクトもあり、改革が目に見えて分かりやすいと思いますが、事業の中身や内容を最も大切に方法や目的が誤った結果にならないようにしていただきたいです。</p>   |
| 伊藤（嘉）委員 | <p>岐阜県は、文化スポーツについて知事部局が管轄されているというところの現状の形を拝見すると、行政組織再編案の通りになることは理解しているところです。ただ、岐阜県でも競技スポーツ課や文化関係も高等学校等の教員が指導主事として介入して学校教育分野での文化、スポーツが遅延することがないように連携が確実に取れていると思います。</p> <p>是非とも、企画財政課長が説明で述べたとおり、「連携をしっかりとしていきます。」という部分において形骸化することがないように教育委員会との連携を確実にを行う体制を形成していただきたいと思います。先ほど述べました県は部活動とか、学校保健、学校安全に関わる部分は、体育健康課が担うことで教育委員会内にあります。今一度、業務内容の細部のところまで精査していただき、教育委員会部局に残した方が良い業務が必ずあると思います。そのような部分を一度、整理しながら進めていただくと有難いと思います。</p> |
| 曾根委員    | <p>認定こども園事業は、昨年度より市長部局のこども未来課へ移管されています。私は、すごく適切な判断であると思います。その理由は、以前から認定こども園も市教委訪問している時に感じていることですが、教育のような教えを講ずることだけでなく実態として福祉支援の面の要素が強いと感じていましたので、移管は合理的であると思いました。</p> <p>認定こども園事業は、市長部局へ移管しておりますが、今年も引き続き認定こども園に市教委訪問させていただきました。今の0歳児から5歳児の実態や先生方の状態、特に私立こども園の中での課題などそのような問題に対する取り組みについて、お聞きすることができましたので、大変参考になりますし、市教委訪問があることで未就学児童が小学校との連携が円滑に行える体制であると強く感じました。</p>  |

| 発言者     | 発言内容  |
|---------|---|
|         | 市長部局と市教委との非常に良い連携となっていますので、改めて報告させていただきます。  |
| 横川市長    | 今回の行政組織の再編も教育委員会の文化振興、スポーツ振興について移管後もしっかりと教育委員の皆様と連携し意見をいただけるよう、規則上、義務付けるような形で定めたいと思います。また、それと同時に、幼児教育の部分も含めて考える必要があると思っています。今後、具体的な進め方などについてしっかりと議論させていただいて皆様に事前にご説明をしたいと思っています。方向性としては、ご理解いただきと思います。   |
| 伊藤（亮）委員 | 市長が少子化や人口減少、そういった方を一体的に進めていきたいので、市長部局に移管し市長の直轄のもとで進めていきたいという思いは、私も理解します。その中で、単純に社会教育課とスポーツ課を2つ合わせて文化スポーツ課ということではなく、細かい事務分掌をしっかりと精査していただき、教育委員会に残すべきものもあると思います。すべて市長部局に移管するというものではないと思います。それぞれの係の事務分掌をしっかりと精査していただき、これは、やはり市長部局ではないというような事務分掌があると思います。教育委員会と市長部局とよくその事務分掌を協議していただき、残すべきものは残していただきたいと思います。  |
| 大津委員    | <p>私は、ボランティアとして活動している者として自分が感じたことを話させていただきます。今、ゲートキーパーとって自殺防止の活動として、学校に自殺防止の「SOSの出し方教育」などをさせていただいております。その担当課は社会福祉課です。学校に出向くので学校とやり取りして伺っておりますが遠慮している感じを受けています。私達ボランティアは、学校もボランティアも子どもたちのために同じことを伝えたいと思っているのに、「SOSの出し方教育」一つやりづらさがあります。</p> <p>また、私は、早川家住宅でイベントを毎月しています。曾根委員が言われたように、深く知りたい方で、専門的に深めていきたいもの、大事に守っていかねばならないものというのは、やはり教育委員会的な組織であると思います。ただ、5月5日のイベントは、商業的なイベントをしています。その時に抹茶を無料にすると500人ぐらいの方が参加していただきました。通常は1,500円の入館料をいただいております。それを高いと思われる方、安いと思われる方もいると思います。専門的なことを大事にしてほしいという面もあり、海津市をアピールしたいという両面で行っているものです。そこで感じている事は、やはり大切な</p> |

| 発言者   | 発言内容  |
|-------|---|
|       | <p>は「人」であると思います。担当される人の熱意や思いで変わることができると思います。そこで、市民のパワーも利用しつつ、職員の方には、市民のフォローもしてもらえば良いイベントや行事毎に繋がるとと思います。子どもが減少していますが、これまでも同様に子どもたちの事を大人は考えていると思います。今後、外から来てもらう人も大事ですが、今、ここにいる子どもたちが、ここで住んで家庭を持ちたいと思うことも重要です。そのためには、やはり海津への理解と愛情、人との関係がこんなに温かいということを感じる仕組み作りをどうのようになるか一番の課題であり大事であると思います。本当に海津市に魅力があるっていうことを、どういう方法で伝えていけるかということのを常に思っています。</p>   |
| 服部教育長 | <p>教育行政を預かる者として思うことは、学校教育だけが教育ではなく、文化振興についてもスポーツ振興についても生涯学習という視点から考えると、大きな教育という部分です。それは揺るぎないことですし、我々の仕事だと思っています。特に、この話が出たとき、文化財のことが重要であると思いました。先ほど曾根委員が申したように、調査など、地道で全然日も当たらないことですが誰かがやらなきゃいけないことです。池田町での教育委員会の研修の際に社会教育課長が自分の歴史と同じで、自分はどこに生まれ、どこで育ちそのことを踏まえなければ、未来は見えてこないという話をされたことが非常に印象に残っています。それは、教育行政の者として取り組むべきことだと思っています。社会教育やスポーツ振興にかかるスポーツ課を移管されることについては、全然異論はありません。教育分野でやるべきことはしっかりとやらせてもらいたいと思っています。今後も教育行政については、しっかり意見を述べてまいりますし、そのことを失うような形では、いけないと思います。海津を愛する人間として発展を目指すのも、今のものを大事にしていくことも、両面とも海津を大事にしている証なので、それぞれ委員の申し出は、大事な視点ですので、よろしくお願ひしたいと思っています。</p> |
| 曾根委員  | <p>最後にお願ひしたいのは、このスケジュールに11月に教育委員会への条例案の意見聴取とありますが、それまでに、毎月の教育委員会をしていますので、是非、市長部局から具体的な内容を忌憚なく挙げていただきたいです。それで、今回こういう組織再編をやるからここがちゃんと実現するという、ゴールも示していただきたいです。それを曖昧にしたまま、結果、変わらないことがないよう、連携をお願ひしたいと思っています。</p>   |

| 発言者                                     | 発言内容   |
|---|--|
| 教育総務課長兼<br>学校給食センター<br>一所長兼学校統<br>合推進室長 | 議題（２）市内小中学校におけるいじめと不登校の実態について、事務局がから説明させていただきます。   |
| 学校教育課長兼<br>教育研究所長                       | <資料により説明>  |
| 伊藤（嘉）委員                                 | いじめの認知件数については、一定数あるということで、減少傾向にあるというものの、例えば、1件でも被害者の捉え方で、例えば自死とか、あるいは不登校になって30日を超えると、当然、重大事案という認定をしていくところです。いろいろと報道を見ていますと、その辺の捉え方が甘かったりしています。教育委員会としては、最初にしっかり事実を捉えて重大事案とし、学校や教育委員会が第三者委員会等を立ち上げて調査した結果、被害者側が納得いかないといった場合は、当然、市長部局の方での再調査というような流れにもなっていくかと思えます。ぜひともその辺のシミュレーションをしたうえで、例えば、再調査となったときに、弁護士に誰を入れるのか臨床心理士に誰を入れるのかとか、その辺までのシミュレーションをしっかりして教育委員会だけじゃなく、市長部局の方でもその流れをしっかりと理解しておく必要があると思っています。西濃地区でもいきなり市長がいじめ重大事案として調査するということがありました。日頃からのシミュレーションをしていないと、そういう結果になるということもありますので、ぜひとも市長部局も十分にご理解いただく必要があると思っていますのでよろしくお願ひしたいと思えます。 |
| 教育総務課長兼<br>学校給食センター<br>一所長兼学校統<br>合推進室長 | 以上で議題につきましては全て終了したところでございます。続きまして（４）その他としまして、「海津町地域小学校統合に伴う学校施設の利活用に関する地域説明会について」事務局より説明します。   |
| 産業経済部長                                  | <資料により説明>  |
| 産業経済部次長                                 | <資料により説明>  |
| 伊藤（亮）委員                                 | 体育館は、避難所として残す、体育館以外は、利活用していくということですが、例えば、体育館の避難場所は、水害の場合、避難できない場所であると思えます。そのような場合は、垂直避難として校舎しかないと思えますがその辺のところ、地域の人たちからご意見はなかったですか。   |

| 発言者                                     | 発言内容  |
|---|---|
| 産業経済部長                                  | <p>地域説明会の中では、高いところがない地域もございますので、そういう防災面での配慮というものについては、意見がございました。仮に、地域での利活用とか市の施策の活用であれば、その部分を残せると思いますけれども、民間事業者になった場合は、募集要項等で防災面に配慮することを明記し、高いところを配慮していただけるようお願いしていこうと思っております。</p>  |
| 伊藤（亮）委員                                 | <p>企業誘致をしたら、高い避難所が無くなる恐れがあります。その企業が高いビルみたいなものを設ければいいが、そうでない場合、地域の人たちの避難所が無くなります。市が水害専用の高い避難所を設けてくればいいが、地域住民としては、一番、不安に感じるところです。</p>   |
| 産業経済部長                                  | <p>ご質問の通り、高い所というのは、非常にこの地域では重要な部分でございます。校舎を今のところ壊すということは想定しておりません。あくまで建物を利活用した内容で募集してまいりたいと考えております。仮に建物を壊して、新たな工場を建てるということであれば、希望がある企業があった場合は、その募集要項の採点の中で考えていくことになると思います。その採点方法は、不利になる可能性もございますが地域の方の意見を反映できるように募集要項を作ってまいりたいと考えております。</p> |
| 教育総務課長兼<br>学校給食センター<br>一所长兼学校統<br>合推進室長 | <p>以上を持ちまして本日の会議を閉じさせていただきます。<br/>本日はどうもありがとうございました。</p>  |

閉会 午後5時